

渡島・檜山地方の気象

平成22年12月(2010年)

函館海洋気象台

平成23年2月1日

◎ 気象概況

この期間の天気は、低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雪または雨の日が多く、下旬は真冬並の寒気が入り強い冬型の気圧配置で大雪となった日もあった。

月平均気温は平年より高く、月降水量は一部を除いて平年並～平年より多く、月間日照時間は一部を除いて平年並～平年より少なかった。

【上旬】

1日は、気圧の谷の通過で雪や雨が降った。2日は、高気圧に覆われ概ね晴れた。3日は、低気圧や前線の通過で雨が降った。低気圧に向かって暖気が流入した影響で、八雲町熊石では日最高気温14.3℃を観測し、12月における高い方からの極値を更新した。4日は、低気圧の影響で曇って雨の降った所があった。5日は、気圧の谷の中で概ね曇りで、雨や雪の降った所があった。6日は、低気圧の接近で雨や雪が降った。7日は、低気圧の通過で雨や雪が降った。8日は、気圧の谷や寒気の影響で曇りで、雪や雨の降った所があった。9日は、気圧の谷の影響で概ね曇った。10日は、冬型の気圧配置で雪や雨が降った所があった。

【中旬】

11日は、前線を伴った低気圧の通過で雨や雪が降った。12日は、冬型の気圧配置で雪や雨が降った。13日は、気圧の谷の通過で概ね曇りで、雪の降った所があった。14日は、低気圧の通過で雪や雨が降った。15日は、冬型の気圧配置で雪が降った。16日は、気圧の谷の中で雪が降ったが、渡島東部では一時晴れた所があった。17日は、気圧の谷の通過で雪が降ったが、渡島地方では晴れた所があった。18日は、低気圧の通過で雪が降った。19日は、気圧の谷の通過で雪や雨が降った。20日は、前線を伴った低気圧の通過で雪や雨が降った。

【下旬】

21日は、高気圧に覆われ概ね晴れた。22日は、低気圧の接近で雨や雪が降った。23日は、低気圧の通過で雨や雪が降った。24～25日は、強い冬型の気圧配置で雪が降って、渡島東部では大雪になった所があった。26日は冬型の気圧配置で雪が降った。27日は、低気圧の影響で檜山地方では曇りで雪の降った所があったが、渡島地方では晴れた所もあった。28日は、低気圧の影響で曇りで雪の降った所があったが、日中に晴れた所もあった。29日は、発達した低気圧の通過で雪が降って、渡島東部・西部では大雪になった所があった。七飯町大沼では最深積雪79cmを、八雲町八雲では積雪差日合計33cmを観測し、それぞれ12月における極値を更新した。30日は、気圧の谷の影響で雪が降ったが、日中に晴れた所もあった。31日は、低気圧の接近で曇って、雪の降った所があった。

気温：各地点の月平均気温は-0.4 ～ 3.0℃で、平年差は+0.9 ～ +1.6℃。

すべての観測点で平年より高く、函館市川汲・函館市美原では平年よりかなり高かった。

降水量：各地点の月降水量は52.5 ～ 316.0 mmで、平年比は63 ～ 222%。

せたな町瀬棚では平年より少なく、長万部・八雲町熊石・乙部町潮見では平年並で、そのほかの観測点では平年より多く、八雲町八雲・函館市川汲・北斗・七飯町大沼・福島町千軒では平年よりかなり多かった。七飯町大沼で185.0mm、福島町千軒で316.0mmの月降水量を観測し、12月における多い方からの極値を更新した。

日照時間：各地点の月間日照時間は32.2 ～ 71.8時間で、平年比は71 ～ 118%。

今金では平年より多く、木古内・松前・八雲町熊石・せたな町瀬棚・江差では平年並で、そのほかの観測点では平年より少なく、八雲町八雲・函館市美原では平年よりかなり少なかった。

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の統計値

	気温（℃）		降水量		日照時間		降雪の深さ	月最深積雪
	月平均	平年差	月合計（mm）	平年比（%）	月合計（h）	平年比（%）	月合計（cm）	（cm）
函館	1.5	+1.6	110.0	138	69.1	74	100	30
江差	2.8	+1.1	129.5	130	32.2	91	2]	1]

（平年比・差は1971年から2000年までのデータで算出した平年値を用いて求めている。）

注：数値に、] や) が付く場合は、統計した期間に欠測が含まれていることを示す。

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の極値更新表

函館、江差における12月の極値の更新はなし。

◎ 異常気象および気象災害発生状況

《12月3日、渡島地方》

概況：前線を伴った低気圧が日本海を発達しながら北上し北海道へ接近した。

このため渡島地方は気圧の傾きが急で風が強く、まとまった雨が降った。

気象現象名：強風、波浪、大雨

気象災害名：強風害、海上波浪害、浸水害、沿岸波浪害

気象観測値：最低海面気圧（函館市美原） 986.6hPa（3日20時05分）
最大風向・風速（函館市美原） 東南東 16.1m/s（3日12時47分）
最大風向・風速（函館空港） 南東 19.4m/s（3日12時09分）
最大瞬間風向・風速（函館市美原） 東南東 25.6m/s（3日12時40分）
最大瞬間風向・風速（函館空港） 東南東 27.8m/s（3日12時00分）
期間降水量・平年比（函館市美原） 21.0mm・750%（3日～3日）
期間降水量・平年比（函館市川汲） 51.0mm・1,457%（3日～3日）
最大日降水量（函館市美原） 21.0mm（3日）
最大日降水量（函館市川汲） 51.0mm（3日）
最大1時間降水量（函館市美原） 6.0mm（3日09時14分まで）
最大1時間降水量（函館市川汲） 12.5mm（3日09時12分まで）

最大10分間降水量（函館市美原）	1.5mm	（3日13時41分まで）
最大10分間降水量（函館市川汲）	3.5mm	（3日11時02分まで）
最大波高（松前）	（速報値）4.1m	（3日24時）
有義波高（松前）	（速報値）2.7m	（3日24時）

被害状況：函館市で強風にあおられ転倒し骨折するなど負傷者2名のほか、住宅や建物14棟でトタンがはがれるなどの住家被害や街路樹・街灯の倒壊被害が発生し、フェリー欠航、函館ロープウェイ運転見合わせるなど交通障害が発生した。また、北斗市で大雨のため9棟が床下浸水した。

《12月25日、渡島地方》

概況：発達した低気圧がサハリン付近に停滞し、真冬並の強い寒気が入り強い冬型の気圧配置となった。

気象現象名：強風、大雪、波浪

気象災害名：強風害、積雪害、雪圧害、海上波浪害

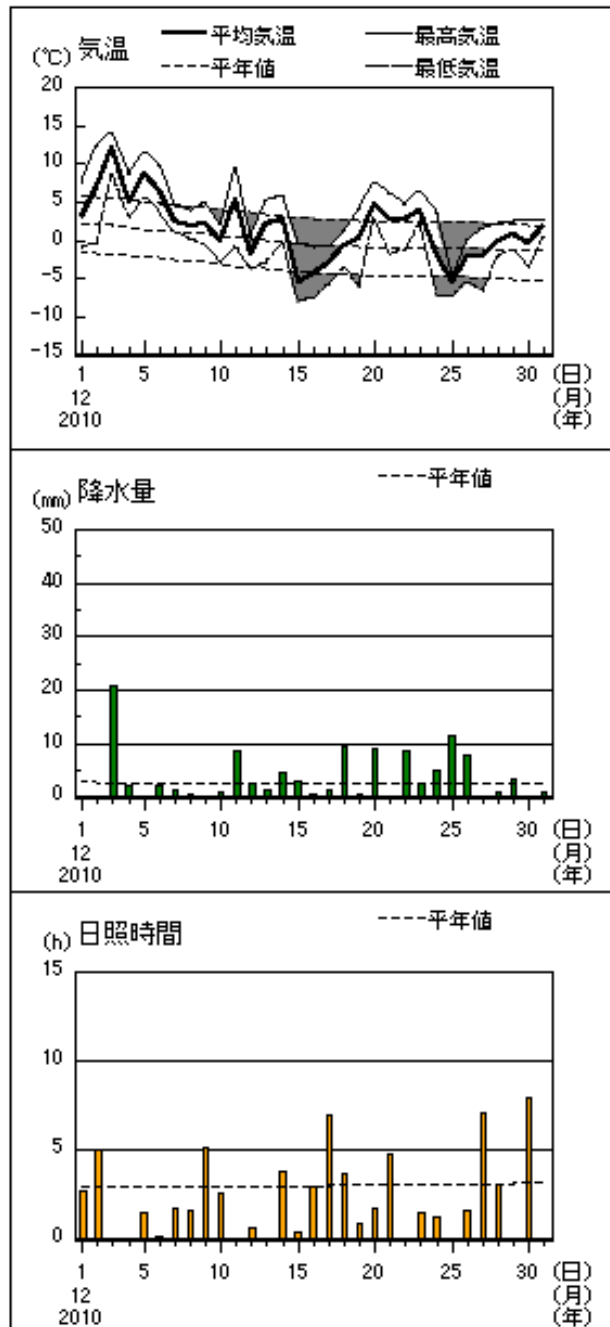
気象観測値：最低海面気圧（函館市美原）	987.9hPa	（26日00時19分）
最大風向・風速（函館市美原）	西南西 10.5m/s	（25日03時03分）
最大風向・風速（松前）	西南西 16.2m/s	（25日01時17分）
最大瞬間風向・風速（函館市美原）	西南西 17.7m/s	（25日10時13分）
最大瞬間風向・風速（松前）	西南西 25.7m/s	（25日00時25分）
降雪の深さ日合計最大（函館市美原）	15cm	（25日）
最深積雪（函館市美原）	30cm	（26日）
最深積雪（七飯町大沼）	79cm	（26日）
積雪差日計0-24（七飯町大沼）	33cm	（25日）
最大波高（松前）	（速報値）12.1m	（25日08時）
有義波高（松前）	（速報値）7.1m	（25日08時）

被害状況：渡島地方の広域で、積雪・雪圧および強風のためビニールハウス全壊や倒壊など481か所で被害が発生したほか、フェリーの欠航、航空機の欠航・遅延、JRの運休・遅延などの交通障害が発生した。

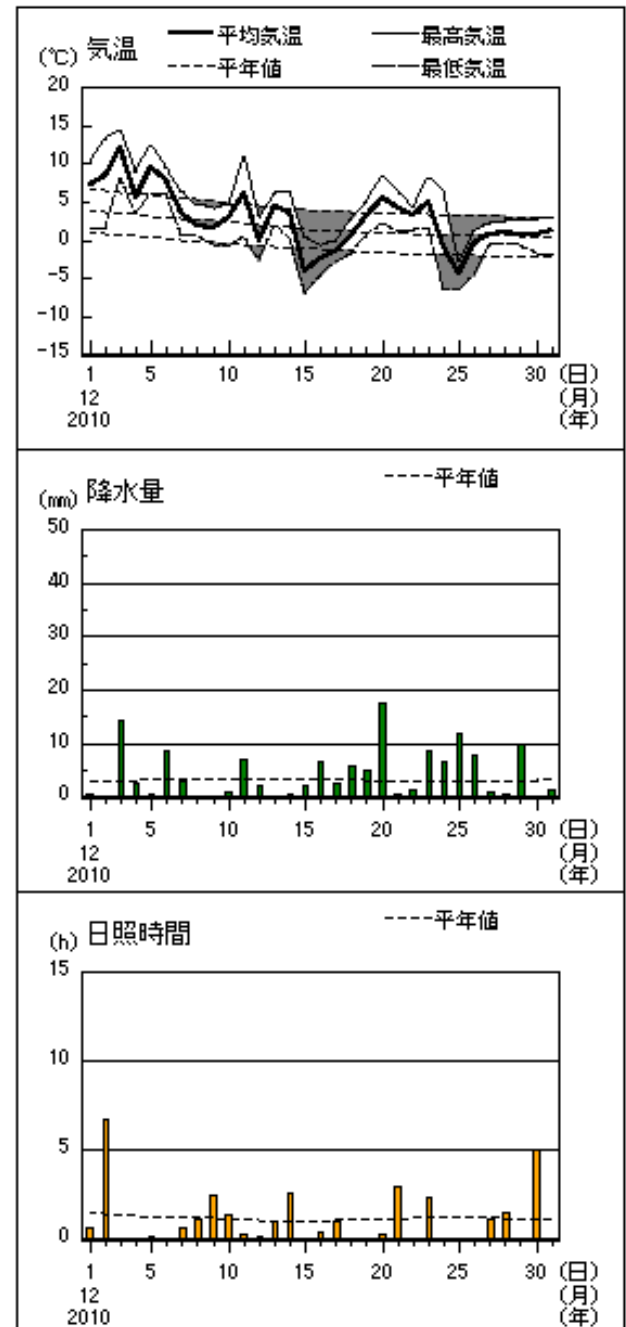
◎ 氣象經過圖（12月）

地上氣象：2010年12月1日-2010年12月31日

函館



江差



◎ 気象分布図（12月）

注：以下の気象分布図は地域気象観測統計に基づき作成しているため、気象官署の函館および江差の値が異なる場合がある。

